

概要版

更別村の下水道の現状と今後について



下水道はどんどん古くなっていきます

更別村に下水道が作られたのは**平成13年**。作られてから20年も経っています。**下水道管の耐用年数はおよそ50年**ですので、全国的に見れば比較的新しいです。しかし・・・30年もあるのでまだまだ大丈夫。というわけにはいきません。例えば・・・**トイレが詰まらないように**、汚水は綺麗にして川に流し**水を循環**する必要もあります。それに維持していく**費用がかかります**。

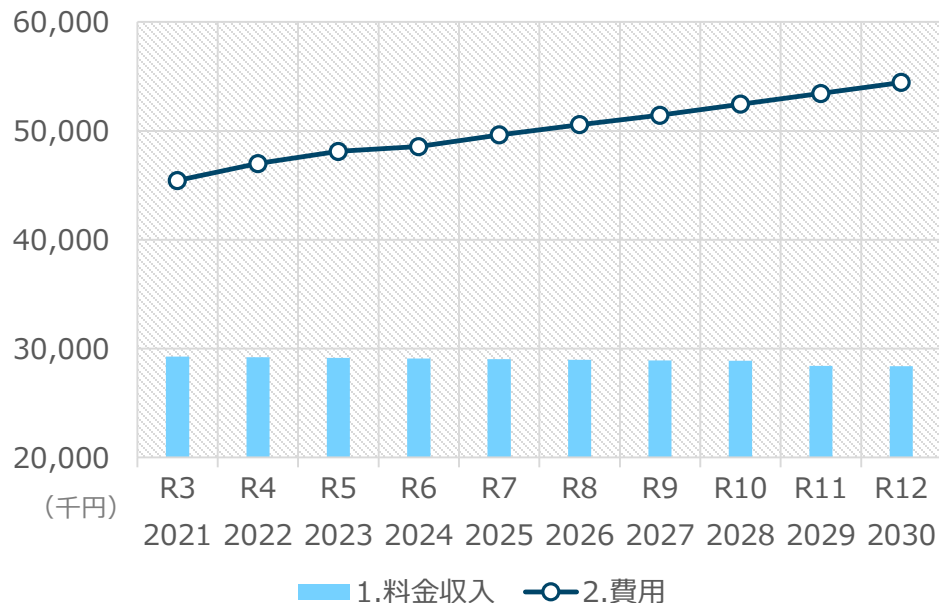
下水道の会計は一般的な役場の会計とは違い、**民間企業と同じ**会計をしています。住民の皆様からいただいている下水道料金で経営をしています。ではここで、令和2年度の経営はどうだったのか見てみましょう。

料金収入 約3,330万円

維持管理費用 約4,606万円

収入－費用 約**-1,276万円**

上記のように、**令和2年度は1,276万円の赤字**でした・・・。また、維持管理費用の他に、処理場の**機械等の装置は耐用年数がもっと短い**ため、修理したり新しくしたりする必要があるため、実際にはもっと経営は厳しくなります。人口の減少で今後料金収入の減少が考えられる中、今後の経営についてしっかりと考えていく必要があります。



左記の図は、今後10年のシミュレーションです。人口減少により料金収入は少しずつ減少していきますが、維持管理費用は労務単価の増加等によって年々増加していくことが見て取れます。また、今後どんどん古くなっていく下水道管や、処理場の機械等の費用は左記には含まれていませんのでより収入と支出の乖離は広がっていきます。

POINT

- ① 下水道は生活には無くてはならない設備
- ② 汚水を綺麗にして水を循環させる必要がある
- ③ 民間企業と同じように料金収入で経営している
- ④ 安心して下水道を使ってもらうにはとても費用がかかる



皆様のご協力をお願い致します。